瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013803 － 0010

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0116	2018/1/22
調整後保管日時	2018年2月6日				8:00
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄

					承認	審査	作成
保管希望日時	2018年2月6日	(火)	8:00				
作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事						
発生場所	H5タンクエリア				2018/1/22	2018/1/19	2018/1/19
作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL			
元請会社		担当者		TEL			
線量測定年月日	2018/1/12	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14

No.	保管物名	※カテゴリ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	48	㎥	20	μSv/h	30	μSv/h	無		
2							㎥							
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ：トラック3台×4回，溶接金網含む（可能な限り取り除いています）

線量測定内容

測定日	2018年2月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/6 8:10	5	㎥			1
1	2	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/6 8:15	5	㎥			1
1	3	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/6 9:10	5	㎥			1
1	4	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/6 9:15	5	㎥			1
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ：

※カテゴリ

①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態		D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」，B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止（養生、容器収納等）を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦　礫　類　・　伐　採　木　管　理　票

計上No.	6013112　－　0002

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0117	2018/1/22
調整後保管日時	2018年2月7日				8:00
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄							
保管希望日時	2018年2月7日	(水)	8:00		承認	審査	作成
作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事						
発生場所	G1タンク盛土上				2018/1/22	2018/1/19	2018/1/19
作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL			
元請会社		担当者		TEL			
線量測定年月日	2017/12/17	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-70

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	16	㎥	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無	
2							㎥						
3							㎥						
4							㎥						
5							㎥						

メモ：ダンプ1台×4回運搬

線量測定内容			
測定日	2018年2月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/7 8:00	5	㎥			1
1	2	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/7 8:05	5	㎥			1
1	3	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/7 8:10	5	㎥			1
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。　再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ：

※カテゴリ												
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ﾎﾟﾘ・ﾋﾞﾆｰﾙ類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
②	状態	D:乾燥，W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」，B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。　注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。　注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013803 － 0010

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0118	2018/1/22
調整後保管日時		2018年2月7日			8:00
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月7日	(水)	8:00	承認	審査	作成
作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事					
発生場所	H5タンクエリア			2018/1/22	2018/1/19	2018/1/19
作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL		
元請会社		担当者		TEL		
線量測定年月日	2018/1/12	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号 1F-ICWBL-14

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	48	㎥	20	μSv/h	30	μSv/h	無	
2							㎥						
3							㎥						
4							㎥						
5							㎥						

メモ: トラック3台×4回，溶接金網含む（可能な限り取り除いています）

線量測定内容

測定日	2018年2月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/7 9:35	5	㎥			1
1	2	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/7 9:35	5	㎥			1
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ:

※カテゴリ

①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態		D:乾燥，W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」，B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦　礫　類　・　伐　採　木　管　理　票

計上No.	6013803　－　0010

						承認	審査	作成
作業主管G記入欄	保管希望日時	2018年2月9日	(金)	8:00				
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事						
	発生場所	H5タンクエリア				2018/1/22	2018/1/19	2018/1/19
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL			
	元請会社		担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/1/12	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無	β＋γ 線量率	
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	48	㎥	20	μSv/h	30	μSv/h	無		
2							㎥							
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ：トラック3台×4回，溶接金網含む（可能な限り取り除いています）

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0119	2018/1/22
調整後保管日時	2018年2月9日				8:00

【保管時の指示事項等】

線量測定内容			
測定日	2018年2月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄 No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ 線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/9 8:40	5	㎥			1
1	2	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/9 9:00	5	㎥			1
1	3	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/9 9:30	5	㎥			1
1	4	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/9 10:15	5	㎥			1
1	5	コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/9 12:25	5	㎥			1

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ：

※カテゴリ													
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D	伐採木	01	伐採木（幹・根）	02	伐採木（枝・葉）	03	—	04	—	05	—
②	状態	D:乾燥，W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」，B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。（最大で5m以下とする。）

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止（養生、容器収納等）を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013802 － 0001

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月7日	(水)	12:00	承認	審査	作成	
作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」						
発生場所	1～4号機周辺			2018/1/23	2018/1/23	2018/1/22	
作業主管G	地下水調査グループ	監理員		TEL			
元請会社		担当者		TEL			
線量測定年月日	2018/1/12	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1－ICW－356

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率
1	塩化ビニール類	B	05	D	B	1	㎥	50	μSv/h	50	μSv/h	無	
2	保温材	B	06	D	B	1	㎥	50	μSv/h	50	μSv/h	無	
3							㎥						
4							㎥						
5							㎥						

メモ

固体廃棄物管理G記入欄

受付番号					受付
廃2018	—	02	—	0123	2018/1/23
調整後保管日時	2018年2月7日				12:00

【保管時の指示事項等】

線量測定内容

測定日	2018年2月7日		
測定№.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	塩化ビニール類(→H)	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/7 12:00	0.5	㎥			2
2	1	保温材 ③	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/7 11:40	1	㎥			1
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ													
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ﾎﾟﾘ・ﾋﾞﾆｰﾙ類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013802 － 0001

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0124	2018/1/23
調整後保管日時	2018年2月9日				9:00
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月9日	(金)	9:00		
作業件名	平成25年度「汚染水処理対策事業(凍土方式遮水壁大規模整備実証事業)」				
発生場所	1～4号機周辺				
作業主管G	地下水調査グループ	監理員		TEL	
元請会社		担当者		TEL	
線量測定年月日	2018/1/15	測定者		測定器名 ICW	管理番号 F1－ICW－356

承認	審査	作成
2018/1/23	2018/1/23	2018/1/22

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無	β＋γ 線量率	
1	防炎シート・金属金具付プラスチック他	B	10	D	B	3	㎥	50	μSv/h	50	μSv/h	無		
2							㎥							
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ

線量測定内容

測定日	2018年2月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ 線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	防炎シート・金属金具付プラスチック他 ③	5	μSv/h	6	μSv/h			エリアC	2018/2/9 9:05	3	㎥			1
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ											
①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態		D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦　礫　類　・　伐　採　木　管　理　票

計上No.	6012908　－　0052

固体廃棄物管理G記入欄	受付
受付番号	
廃2018 — 02 — 0131	2018/1/23
調整後保管日時　2018年2月7日	10:00

【保管時の指示事項等】

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月7日	(水)	10:00
作業件名	1F　土捨て場北側造成関連通信設備除却		
発生場所	土捨て場北側		

承認	審査	作成
2018/1/23	2018/1/23	2018/1/23

作業主管G	通信システムグループ	監理員		TEL	
元請会社		担当者		TEL	
線量測定年月日	2018/1/22	測定者			
測定器名	PS	管理番号	F1-PS-213		

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	紙・ウェス・ダンボール類	A	01	D	A	0.2	㎥	2	μSv/h	1.4	μSv/h	無		
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	0.2	㎥	2	μSv/h	1.4	μSv/h	無		
3	木材類	A	03	D	A	0.5	㎥	2	μSv/h	1.4	μSv/h	無		
4	可燃物その他	A	04	D	A	0.2	㎥	2	μSv/h	1.4	μSv/h	無		
5	コンクリート・アスファルトガラ	B	02	D	A	1.2	㎥	0.8	μSv/h	0.8	μSv/h	無		

メモ　注：α有、βα有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

線量測定内容

測定日	2018年2月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2		ICW	F1-ICW-158
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙・ウェス・ダンボール類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/7 10:05	0.5	㎥			2
2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/7 10:05	0.2	㎥			2
5	1	コンクリート・アスファルトガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/7 10:00	1.5	㎥			1
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。　再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ

①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —				
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —				
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類				
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他				
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —				
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —				
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —				
②	状態	D:乾燥，W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」，B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。　注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。　注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No.	6012908 － 0052

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0132	2018/1/23
調整後保管日時		2018年2月9日			9:30
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月9日		(金)	10:00		承認	審査	作成
作業件名	1F 土捨て場北側造成関連通信設備除却							
発生場所	土捨て場北側					2018/1/23	2018/1/23	2018/1/23
作業主管G	通信システムグループ		監理員			TEL		
元請会社			担当者			TEL		
線量測定年月日	2018/1/22	測定者		測定器名	PS	管理番号	F1-PS-213	

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無	β＋γ 線量率	
1	金属ガラ	B	01	D	A	1.8	㎥	2	μSv/h	1.4	μSv/h	無		
2	コンクリート・アスファルトガラ	B	02	D	A	0.9	㎥	0.8	μSv/h	0.8	μSv/h	無		
3	ケーブル類	B	08	D	A	2	㎥	2	μSv/h	1.4	μSv/h	無		
4	ゴム類	C	01	D	A	0.1	㎥	2	μSv/h	1.4	μSv/h	無		
5	ホース類	C	03	D	A	0.1	㎥	2	μSv/h	1.4	μSv/h	無		

メモ 注：α有、βα有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

線量測定内容

測定日	2018年2月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ 線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	金属ガラ ⑩	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/9 9:20	1.8	㎥			1
3	1	ケーブル類 ⑩	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/9 9:20	2	㎥			1
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ

①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05 —
			06	—	07	—	08	—	09	—	10 —
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05 塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15 —
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05 —
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No.	6013403 － 0001

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0137	2018/1/24
調整後保管日時		2018年2月5日			10:30
【保管時の指示事項等】					

承認	審査	作成
2018/1/24	2018/1/24	2018/1/23

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月5日	(月)	10:30				
作業件名	6R D／G他点検手入工事						
発生場所	6号機 取水路エリア						
作業主管G	機械グループ	監理員		TEL			
元請会社		担当者		TEL			
線量測定年月日	2018/1/22	測定者		測定器名	電離箱式ｻｰﾍﾞｲﾒｰﾀｰ	管理番号	FI-ICWBL-72

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無	β＋γ 線量率
1	木材	A	03	D	A	4	㎥	5	μSv/h	5	μSv/h	無	
2							㎥						
3							㎥						
4							㎥						
5							㎥						

メモ 注：α有、βα有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

線量測定内容

測定日	2018年2月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ 線量率	保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	木材	2	μSv/h	2	μSv/h		エリアO	2018/2/5 10:20	7	㎥			1
											㎥			
											㎥			
											㎥			
											㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ

①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ﾎﾟﾘ・ﾋﾞﾆｰﾙ類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態	D：乾燥，W：湿気有	③	履歴	A：「1F構内にあった物」，B：「工事のために持ち込まれた物」		

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No.	6013708 － 0029

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0140	2018/1/24
調整後保管日時	2018年2月5日				10:30
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄

				承認	審査	作成
保管希望日時	2018年2月5日	(月)	10:30			
作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】					
発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他			2018/1/24	2018/1/23	2018/1/23

作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL	
元請会社		担当者		TEL	
線量測定年月日	2017/11/14	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ
管理番号	F1-ICWBL-72				

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	発泡スチロール	A	02	D	B	5	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
2							㎥							
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ

線量測定内容

測定日	2018年2月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	発泡スチロール	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/5 10:10	5.4	㎥			1
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ

①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013708 － 0029

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0141	2018/1/24
調整後保管日時	2018年2月5日				11:00
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月5日	（月）	11:00		承認	審査	作成
作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】						
発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他				2018/1/24	2018/1/23	2018/1/23
作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL			
元請会社		担当者		TEL			
線量測定年月日	2017/11/14	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-72

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率
1	発泡スチロール	A	02	D	B	5	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無	
2							㎥						
3							㎥						
4							㎥						
5							㎥						

メモ

線量測定内容

測定日	2018年2月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	発泡スチロール	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/5 10:10	5	㎥			1
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ

①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」，B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013708 － 0029

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0142	2018/1/24
調整後保管日時	2018年2月5日				11:30

【保管時の指示事項等】

作業主管G記入欄							
保管希望日時	2018年2月5日	(月)	11:30		承認	審査	作成
作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】						
発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他				2018/1/24	2018/1/23	2018/1/23
作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL			
元請会社		担当者		TEL			
線量測定年月日	2017/11/14	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-72

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	発泡スチロール	A	02	D	B	5	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
2							㎥							
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ

線量測定内容			
測定日	2018年2月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	発泡スチロール	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/5 11:30	4.7	㎥			1
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ												
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ﾎﾟﾘ・ﾋﾞﾆｰﾙ類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」，B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013708 － 0029

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	―	02	―	0143	2018/1/24
調整後保管日時	2018年2月5日				12:30

【保管時の指示事項等】

作業主管G記入欄

				承認	審査	作成
保管希望日時	2018年2月5日	(月)	12:30			
作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】					
発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他			2018/1/24	2018/1/23	2018/1/23

作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL	
元請会社		担当者		TEL	
線量測定年月日	2017/11/14	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ
管理番号	F1-ICWBL-72				

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率
1	発泡スチロール	A	02	D	B	5	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無	
2							㎥						
3							㎥						
4							㎥						
5							㎥						

メモ

線量測定内容

測定日

測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率	表面線量率	β＋γ線量率	保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
		中止							㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ

①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ﾎﾟﾘ・ﾋﾞﾆｰﾙ類	03	木材類	04	可燃物その他	05 ―
			06	―	07	―	08	―	09	―	10 ―
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05 塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	―	14	―	15 ―
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05 ―
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	―	04	―	05 ―
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」，B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013708 － 0029

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0144	2018/1/24
調整後保管日時	2018年2月5日				13:00
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月5日	(月)	13:00	承認	審査	作成	
作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】						
発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他			2018/1/24	2018/1/23	2018/1/23	
作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL			
元請会社		担当者		TEL			
線量測定年月日	2017/11/14	測定者		測定器名	電離箱式ｻｰﾍﾞｲﾒｰﾀ	管理番号	F1-ICWBL-72

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	発泡スチロール	A	02	D	B	5	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
2							㎥							
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ

線量測定内容

測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
		中止										㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ								
①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ﾎﾟﾘ・ﾋﾞﾆｰﾙ類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態		D:乾燥，W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」，B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013708 － 0029

固体廃棄物管理G記入欄			受付
受付番号			
廃2018 — 02 — 0145			2018/1/24
調整後保管日時	2018年2月6日		10:30
【保管時の指示事項等】			

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月6日	(火)	10:30	承認	審査	作成
作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】					
発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他			2018/1/24	2018/1/23	2018/1/23
作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL		
元請会社		担当者		TEL		
線量測定年月日	2017/11/14	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号 F1-ICWBL-72

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	発泡スチロール	A	02	D	B	5	m³	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
2							m³							
3							m³							
4							m³							
5							m³							

メモ

線量測定内容

測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
		中止										m³			
												m³			
												m³			
												m³			
												m³			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ

①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態		D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No.	6013708 – 0029

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月6日	(火)	11:00		
作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】				
発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他				
作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL	
元請会社		担当者		TEL	
線量測定年月日	2017/12/12	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ
管理番号	F1-ICWBL-72				

承認	審査	作成
2018/1/24	2018/1/23	2018/1/23

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β+γ線量率	
1	カナフレックス	C	03	D	B	5	㎥	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無		
2							㎥							
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ

固体廃棄物管理G記入欄

受付番号	廃2018	—	02	—	0146
受付	2018/1/24				
調整後保管日時	2018年2月6日	11:00			

【保管時の指示事項等】

線量測定内容

測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β+γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
		中止										㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ												
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013708 － 0029

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0147	2018/1/24
調整後保管日時	2018年2月6日				11:30
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月6日	(火)	11:30	承認	審査	作成
作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】					
発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他			2018/1/24	2018/1/23	2018/1/23
作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL		
元請会社		担当者		TEL		
線量測定年月日	2017/12/12	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号 F1-ICWBL-72

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	カナフレックス	C	03	D	B	5	㎥	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無		
2							㎥							
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ

線量測定内容

測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
		中止										㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ											
①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態		D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013708 － 0029

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0148	2018/1/24
調整後保管日時		2018年2月6日			12:30
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月6日		(火)	12:30	承認	審査	作成	
作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】							
発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他				2018/1/24	2018/1/23	2018/1/23	
作業主管G	貯留設備グループ		監理員		TEL			
元請会社			担当者		TEL			
線量測定年月日	2017/12/12	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-72	

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	カナフレックス	C	03	D	B	5	㎥	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無		
2							㎥							
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ

線量測定内容

測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
		中止										㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ

①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態		D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013708 － 0029

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	―	02	―	0149	2018/1/24
調整後保管日時		2018年2月6日			12:30

【保管時の指示事項等】

作業主管G記入欄															
保管希望日時	2018年2月6日				（火）		12:30				承認		審査	作成	
作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】														
発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他										2018/1/24		2018/1/23	2018/1/23	
作業主管G	貯留設備グループ					監理員					TEL				
元請会社						担当者					TEL				
線量測定年月日	2017/12/12	測定者				測定器名	電離箱式サーベイメータ				管理番号		F1-ICWBL-72		

No.	保管物名	※カテゴリ				物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
		①		②	③									
1	カナフレックス	C	03	D	B	5	㎥	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無		
2							㎥							
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
		中止										㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ												
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	―
			06	―	07	―	08	―	09	―	10	―
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	―	14	―	15	―
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	―
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	―	04	―	05	―
②	状態		D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」，B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦　礫　類　・　伐　採　木　管　理　票

計上No.	6010112 － 0001

作業主管G記入欄	保管希望日時	2018年2月7日	(水)	9:30		
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務				
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫（GM-19 北東）				
	作業主管G	総務グループ	監理員		TEL	
	元請会社		担当者		TEL	
	線量測定年月日	2018/1/22	測定者		測定器名	F1-SC
	管理番号	209				

承認	審査	作成
2018/1/24	2018/1/24	2018/1/22

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	不燃その他(缶)	B	10	D	A	2	㎥	5	μSv/h	5	μSv/h	無		
2	不燃その他(ビン)	B	10	D	A	2	㎥	5	μSv/h	5	μSv/h	無		
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ：持ち込み

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0153	2018/1/25
調整後保管日時	2018年2月7日				9:30

【保管時の指示事項等】

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄 No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
		中止										㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ：

※カテゴリ											
①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —				
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —				
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類				
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他				
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —				
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —				
	D	伐採木	01 伐採木（幹・根）	02 伐採木（枝・葉）	03 —	04 —	05 —				
②	状態	D：乾燥，W：湿気有	③	履歴	A：「1F構内にあった物」，B：「工事のために持ち込まれた物」						

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。（最大で5m以下とする。）
注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止（養生、容器収納等）を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6010112 － 0001

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0154	2018/1/25
調整後保管日時		2018年2月7日			10:30
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄	保管希望日時	2018年2月7日	(水)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)			2018/1/24	2018/1/24	2018/1/24			
	作業主管G	総務グループ	監理員		TEL					
	元請会社		担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/1/24	測定者		測定器名	F1-SC	管理番号	190		

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β+γ線量率
1	紙類　(金属コンテナ収納済)	A	01	D	A	4	㎥	2	μSv/h	2	μSv/h	無	
2							㎥						
3							㎥						
4							㎥						
5							㎥						

メモ：持ち込み

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率	表面線量率	β+γ線量率	保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
		中止							㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ												
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ﾎﾟﾘ・ﾋﾞﾆｰﾙ類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No.	6010112 － 0001

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0155	2018/1/25
調整後保管日時	2018年2月7日				11:30
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月7日	(水)	11:30	承認	審査	作成
作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務					
発生場所	福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)			2018/1/24	2018/1/24	2018/1/24
作業主管G	総務グループ	監理員		TEL		
元請会社		担当者		TEL		
線量測定年月日	2018/1/24	測定者		測定器名	F1-SC	管理番号 190

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率
1	段ボール(金属コンテナ収納済)	A	01	D	A	1	m³	2	μSv/h	2	μSv/h	無	
2	ペットボトル(金属コンテナ収納済)	A	02	D	A	2	m³	2	μSv/h	2	μSv/h	無	
3							m³						
4							m³						
5							m³						

メモ: 持ち込み

線量測定内容

測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率	表面線量率	β＋γ線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
		中止						m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ:

※カテゴリ

①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ･ﾎﾟﾘ･ﾋﾞﾆｰﾙ類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態		D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6010112 － 0001

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0156	2018/1/25
調整後保管日時	2018年2月9日				9:30
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月9日	(金)	9:30	
作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務			
発生場所	福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)			
作業主管G	総務グループ	監理員		TEL
元請会社		担当者		TEL
線量測定年月日	2018/1/24	測定者		
測定器名	F1-SC	管理番号	190	

承認	審査	作成
2018/1/24	2018/1/24	2018/1/24

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率
1	ビニール類（金属コンテナ収納済）	A	02	D	A	4	㎥	2	μSv/h	2	μSv/h	無	
2							㎥						
3							㎥						
4							㎥						
5							㎥						

メモ：持ち込み

線量測定内容

測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率	表面線量率	β＋γ線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
		中止						㎥			
								㎥			
								㎥			
								㎥			
								㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ：

※カテゴリ

①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」，B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6010112 － 0001

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0157	2018/1/25
調整後保管日時	2018年2月9日				10:30
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄						
保管希望日時	2018年2月9日	(金)	10:30	承認	審査	作成
作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務					
発生場所	福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)			2018/1/24	2018/1/24	2018/1/24
作業主管G	総務グループ	監理員		TEL		
元請会社		担当者		TEL		
線量測定年月日	2018/1/24	測定者		測定器名	F1-SC	管理番号 190

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	ビニール類 (金属コンテナ収納済)	A	02	D	A	4	㎥	2	μSv/h	2	μSv/h	無		
2							㎥							
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ: 持ち込み

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄 No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
		中止										㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ:

※カテゴリ													
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ﾎﾟﾘ・ﾋﾞﾆｰﾙ類	03	木材類	04	可燃物その他	05	―
			06	―	07	―	08	―	09	―	10	―
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	―	14	―	15	―
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	―
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	―	04	―	05	―
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No.	6010112 － 0001

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	―	02	―	0158	2018/1/25
調整後保管日時	2018年2月9日				11:30
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄										
保管希望日時	2018年2月9日	(金)	11:30				承認	審査	作成	
作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務									
発生場所	福島第一原子力発電所構内(小型焼却炉エリア)						2018/1/24	2018/1/24	2018/1/24	
作業主管G	総務グループ		監理員		TEL					
元請会社			担当者		TEL					
線量測定年月日	2018/1/24	測定者		測定器名	F1-SC	管理番号	190			

No.	保管物名	※カテゴリ ①	②	③	物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無	β＋γ 線量率
1	ビニール類 (金属コンテナ収納済)	A 02	D	A	4	m³	2	μSv/h	2	μSv/h	無	
2						m³						
3						m³						
4						m³						
5						m³						

メモ：持ち込み

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β＋γ 線量率	保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
		中止							m³			
									m³			
									m³			
									m³			
									m³			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ：

※カテゴリ							
①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ﾎﾟﾘ・ﾋﾞﾆｰﾙ類	03 木材類	04 可燃物その他	05 ―
			06 ―	07 ―	08 ―	09 ―	10 ―
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 ―	14 ―	15 ―
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 ―
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 ―	04 ―	05 ―
②	状態		D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013201 − 0001

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0159	2018/1/25
調整後保管日時	2018年2月6日				11:00
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄							
保管希望日時	2018年2月6日	(火)	11:00	承認	審査	作成	
作業件名	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事						
発生場所	BCヤード			2018/1/25	2018/1/25	2018/1/25	
作業主管G	3号機建築グループ	監理員		TEL			
元請会社		担当者		TEL			
線量測定年月日	2018/1/19	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-361

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β+γ線量率	
1	金属がら	B	01	D	B	1	㎥	0.03	mSv/h	0.05	mSv/h	β有	0.2	mSv/h
2	コンクリートがら	B	02	D	B	0.1	㎥	0.03	mSv/h	0.05	mSv/h	β有	0.1	mSv/h
3	土砂類	B	04	D	B	0.2	㎥	0.03	mSv/h	0.05	mSv/h	β有	0.1	mSv/h
4	不燃物その他	B	10	D	B	0.3	㎥	0.03	mSv/h	0.35	mSv/h	β有	0.6	mSv/h
5	難燃シート類	C	02	D	B	0.1	㎥	0.03	mSv/h	0.1	mSv/h	β有	0.2	mSv/h

メモ　注:α有、βα有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

線量測定内容

測定日	2018年2月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β+γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	金属がら	5	μSv/h	50	μSv/h	250	μSv/h	エリアX	2018/2/6 11:00	1	㎥			1
2	1	コンクリートがら	5	μSv/h	30	μSv/h	100	μSv/h	エリアX	2018/2/6 11:00	0.1	㎥			1
3	1	土砂類	5	μSv/h	60	μSv/h	200	μSv/h	エリアX	2018/2/6 11:00	0.2	㎥			1
4	1	不燃物その他	5	μSv/h	200	μSv/h	400	μSv/h	エリアX	2018/2/6 11:00	0.3	㎥			1
5	1	難燃シート類	5	μSv/h	60	μSv/h	100	μSv/h	エリアX	2018/2/6 11:00	0.1	㎥			1

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ

①											
A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
		06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦　礫　類　・　伐　採　木　管　理　票

計上No.	6013202　－　0001

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0161	2018/1/25
調整後保管日時	2018年2月5日				8:30
【保管時の指示事項等】					

承認	審査	作成
2018/1/25	2018/1/25	2018/1/25

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月5日					(月)	8:30									
作業件名	＃1カバー工事(瓦礫撤去工事)															
発生場所	1号機周辺ヤード															
作業主管G	1号機建築グループ						監理員			TEL						
元請会社							担当者			TEL						
線量測定年月日	2018/1/16	測定者					測定器名	電離箱		管理番号	F1－ICWBL－133					
No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率			
1	難燃物:ゴム類	C	01	W	B	0.1	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無				
2	難燃物:難燃シート類(スパッタシート)	C	02	W	B	1.3	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無				
3	難燃物:難燃物その他(火気作業着他)	C	04	W	B	0.1	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無				
4	可燃物:紙・ウェス類	A	01	W	B	1	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無				
5	可燃物:プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	B	2.5	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無				

メモ：保管物を透明袋に収納しているため。結露して湿気あります。

線量測定内容			
測定日	2018年2月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	難燃物:ゴム類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/5 8:25	0.2	㎥			1
3	1	難燃物:難燃物その他(火気作業着他)	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/5 8:25	0.2	㎥			1
4	1	可燃物:紙・ウェス類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/5 8:25	0.5	㎥			1
5	1	可燃物:プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/5 8:25	1.3	㎥			1
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ

①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —			
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —			
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦　礫　類　・　伐　採　木　管　理　票

計上No.	6013704　－　0032

固体廃棄物管理G記入欄	受付
受付番号	
廃2018 — 02 — 0162	2018/1/25
調整後保管日時　2018年2月6日	10:00
【保管時の指示事項等】	

作業主管G記入欄								
保管希望日時	2018年2月6日	(火)	10:00			承認	審査	作成
作業件名	H5・6フランジタンクリプレイス関連工事							
発生場所	G1エリア					2018/1/24	2018/1/24	2018/1/23
作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL				
元請会社		担当者		TEL				
線量測定年月日	2017/11/28	測定者		測定器名	ICW(B)	管理番号	F1-ICWBL-83	

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	フレコンバック、ポリカ波板他	A	02	D	B	3	㎥	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
2	角材	A	03	D	B	1	㎥	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
3	鉄くず	B	01	D	B	2	㎥	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
4	鉛毛マット　金属ガラ:鉛	B	01	D	B	3	㎥	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
5							㎥							

メモ　注:α有、βα有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

線量測定内容			
測定日	2018年2月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICW	F1-ICW-158
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	フレコンバック、ポリカ波板他	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/6 9:25	3	㎥			2
2	1	角材	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/6 9:25	1	㎥			2
3	1	鉄くず ⑩	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/6 10:00	1.5	㎥			1
4	1	鉛毛マット　金属ガラ:鉛	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアX	2018/2/6 10:00	2.5	㎥			1
												㎥			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。　再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ							
①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」，B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。　注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。　注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No.	6013708 － 0029

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月7日	(水)	10:30			承認	審査	作成
作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】							
発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他					2018/1/25	2018/1/24	2018/1/24
作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL				
元請会社		担当者		TEL				
線量測定年月日	2017/11/7	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-123	

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	PE管(電極部)	B	10	D	B	1	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
2	PE管	C	04	D	B	4	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ

固体廃棄物管理G記入欄

受付番号					受付
廃2018	—	02	—	0163	2018/1/25
調整後保管日時	2018年2月7日				10:30

【保管時の指示事項等】

線量測定内容

測定日	2018年2月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	PE管(電極部) ③	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/7 10:40	1	㎥			1
2	1	PE管	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/7 10:30	4.2	㎥			2
												㎥			
												㎥			
												㎥			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ

①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013708 – 0029

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0164	2018/1/25
調整後保管日時	2018年2月7日		11:00		

【保管時の指示事項等】

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月7日	(水)	11:00
作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】		
発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他		

承認	審査	作成
2018/1/25	2018/1/24	2018/1/24

作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL	
元請会社		担当者		TEL	
線量測定年月日	2017/11/7	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ
管理番号	F1-ICWBL-123				

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	木材	A	03	D	B	1.5	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
2	紙類	A	01	D	B	1	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
3	ビニール	A	02	D	B	1	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
4							㎥							
5							㎥							

メモ

線量測定内容

測定日	2018年2月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	木材	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/7 11:00	1.5	㎥			1
2	1	紙類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/7 11:00	1	㎥			1
3	1	ビニール	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/7 11:00	1	㎥			1
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ

①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他
			05	—	06	—	07	—	08	—
			09	—	10	—				
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類
			05	塩化ビニール類	06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類
			09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品
			13	—	14	—	15	—		
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他
			05	—						
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
			05	—						
②	状態	D:乾燥, W:湿気有								
③	履歴	A:「1F構内にあった物」，B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013708 – 0029

作業主管G記入欄

					承認	審査	作成
保管希望日時	2018年2月7日	(水)	11:30				
作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】						
発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他				2018/1/25	2018/1/24	2018/1/24
作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL			
元請会社		担当者		TEL			
線量測定年月日	2017/11/7	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-123

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β+γ線量率	
1	発泡スチロール	A	02	D	B	2	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
2	プラスチック	A	02	D	B	0.2	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
3	雑可燃	A	04	D	B	0.2	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
4	廃ケミカル袋	A	04	D	B	0.2	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
5	ゴム	C	01	D	B	0.1	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		

メモ

固体廃棄物管理G記入欄

					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0165	2018/1/25
調整後保管日時	2018年2月7日				11:30

【保管時の指示事項等】

線量測定内容

測定日	2018年2月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β+γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	発泡スチロール	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/7 11:30	2	㎥			1
2	1	プラスチック	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/7 11:30	0.2	㎥			1
3	1	雑可燃	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/7 11:30	0.9	㎥			1
5	1	ゴム	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/7 11:30	0.1	㎥			1
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ

①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
		06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
		06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
		11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C 難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D 伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態	D:乾燥、W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」，B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013708 – 0029

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0166	2018/1/25
調整後保管日時	2018年2月7日				12:30
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月7日	(水)	12:30	承認	審査	作成
作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】					
発生場所	B、C、E、G、Hタンクエリア関係他			2018/1/25	2018/1/24	2018/1/24
作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL		
元請会社		担当者		TEL		
線量測定年月日	2017/12/21	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号 F1-ICWBL-113

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	エフレックス	C	04	D	B	2	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
2	ケーブル	B	08	D	B	1	㎥	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ

線量測定内容

測定日	2018年2月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用/減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	エフレックス (→H)	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/7 12:30	2	㎥			2
2	1	ケーブル ⑩	5	μSv/h	6	μSv/h			エリアC	2018/2/7 11:30	1	㎥			1
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ

①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05 —
			06	—	07	—	08	—	09	—	10 —
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05 塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15 —
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05 —
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013803 － 0015

作業主管G記入欄						
保管希望日時	2018年2月5日	(月)	8:00	承認	審査	作成
作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事					
発生場所	Bエリア			2018/1/25	2018/1/25	2018/1/25
作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL		
元請会社		担当者		TEL		
線量測定年月日	2017/12/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号 F1-ICWBL-133

No.	保管物名	※カテゴリ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	鉄筋コンクリートガラ	B	02	D	A	33	㎥	0.008	mSv/h	0.008	mSv/h	無		
2							㎥							
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ：4．22×2台×4回

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0168	2018/1/25
調整後保管日時	2018年2月5日				8:30

【保管時の指示事項等】

時間調整をしています。よろしくお願いします。

線量測定内容			
測定日	2018年2月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICWBL	F1-ICWBL-55
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	6	μSv/h			エリアC	2018/2/5 8:25	5	㎥			1
1	2	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/5 8:30	5	㎥			1
1	3	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	6	μSv/h			エリアC	2018/2/5 9:15	5	㎥			1
1	4	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	6	μSv/h			エリアC	2018/2/5 9:20	5	㎥			1
1	5	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	6	μSv/h			エリアC	2018/2/5 10:00	5	㎥			2

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ：

※カテゴリ							
①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態		D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」，B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票　（別紙）

作業主管G記入欄	No.	保管物名	※カテゴリ ①	※カテゴリ ②	※カテゴリ ③	物量	測定場所雰囲気線量率	表面線量率	β・α汚染の有無	β＋γ線量率
	6					㎥				
	7					㎥				
	8					㎥				
	9					㎥				
	10					㎥				

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	02	—	0168

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率	表面線量率	β＋γ線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	6	鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/2/5 10:05	5 ㎥			2
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ													
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ･ﾎﾟﾘ･ﾋﾞﾆｰﾙ類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D	伐採木	01	伐採木（幹・根）	02	伐採木（枝・葉）	03	—	04	—	05	—
②	状態	D：乾燥，W：湿気有	③	履歴	A：「1F構内にあった物」，B：「工事のために持ち込まれた物」							

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。（最大で5m以下とする。）

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止（養生、容器収納等）を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013803 – 0015

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0169	2018/1/25
調整後保管日時	2018年2月6日				8:30

【保管時の指示事項等】

時間調整をしています。よろしくお願いします。

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月6日	(火)	8:00	承認	審査	作成	
作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事						
発生場所	Bエリア			2018/1/25	2018/1/25	2018/1/25	
作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL			
元請会社		担当者		TEL			
線量測定年月日	2017/12/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号	F1-ICWBL-133

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β+γ線量率
1	鉄筋コンクリートガラ	B	02	D	A	33	㎥	0.008	mSv/h	0.008	mSv/h	無	
2							㎥						
3							㎥						
4							㎥						
5							㎥						

メモ: 4. 22×2台×4回

線量測定内容

測定日	2018年2月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β+γ線量率	保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h		エリアC	2018/2/6 8:05	5	㎥			1
1	2	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	6	μSv/h		エリアC	2018/2/6 8:20	5	㎥			1
1	3	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	6	μSv/h		エリアC	2018/2/6 9:10	5	㎥			1
1	4	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	6	μSv/h		エリアC	2018/2/6 9:20	5	㎥			1
1	5	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	6	μSv/h		エリアC	2018/2/6 10:20	5	㎥			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ:

※カテゴリ

①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態		D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票　（別紙）

作業主管G記入欄 No.	保管物名	※カテゴリ ①	②	③	物量	測定場所雰囲気線量率	表面線量率	β・α汚染の有無	β＋γ線量率
6					m³				
7					m³				
8					m³				
9					m³				
10					m³				

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	02	—	0169

保管実績記入欄 No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率	表面線量率	β＋γ線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	6	鉄筋コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/6 10:40	5 m³			1
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ												
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D	伐採木	01	伐採木（幹・根）	02	伐採木（枝・葉）	03	—	04	—	05	—
②	状態	D：乾燥, W：湿気有	③	履歴	A：「1F構内にあった物」，B：「工事のために持ち込まれた物」							

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。（最大で5m以下とする。）
注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止（養生、容器収納等）を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No.	6013803 － 0015

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月7日	(水)	8:00		
作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事				
発生場所	Bエリア				
作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL	
元請会社		担当者		TEL	
線量測定年月日	2017/12/13	測定者			
測定器名	β γ 用電離箱	管理番号	F1-ICWBL-133		

承認	審査	作成
2018/1/25	2018/1/25	2018/1/25

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	鉄筋コンクリートガラ	B	02	D	A	33	㎥	0.008	mSv/h	0.008	mSv/h	無		
2							㎥							
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ: 4．22×2台×4回

固体廃棄物管理G記入欄

受付番号					受付
廃2018	—	02	—	0170	2018/1/25
調整後保管日時	2018年2月7日				8:30

【保管時の指示事項等】

時間調整をしています。よろしくお願いします。

線量測定内容

測定日	2018年2月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICWBL	F1-ICWBL-55
3		ICWBL	F1-ICWBL-55
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/7 8:30	5	㎥			1
1	2	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/7 9:00	5	㎥			2
1	3	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/7 9:30	5	㎥			3
1	4	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/7 10:00	5	㎥			2
1	5	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/7 12:00	5	㎥			3

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ:

※カテゴリ

①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ･ﾎﾟﾘ･ﾋﾞﾆｰﾙ類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票　（別紙）

作業主管G記入欄	No.	保管物名	※カテゴリ ①	※カテゴリ ②	※カテゴリ ③	物量	測定場所雰囲気線量率	表面線量率	β・α汚染の有無	β＋γ線量率
	6					㎥				
	7					㎥				
	8					㎥				
	9					㎥				
	10					㎥				

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	02	—	0170

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率	表面線量率	β＋γ線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	6	鉄筋コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/7 12:30	5 ㎥			1
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			
									㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ													
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ﾎﾟﾘ・ﾋﾞﾆｰﾙ類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D	伐採木	01	伐採木（幹・根）	02	伐採木（枝・葉）	03	—	04	—	05	—
②	状態	D：乾燥，W：湿気有	③	履歴	A：「1F構内にあった物」，B：「工事のために持ち込まれた物」							

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。（最大で5m以下とする。）
注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止（養生、容器収納等）を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦　礫　類　・　伐　採　木　管　理　票

計上No.	6013803　－　0015

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0171	2018/1/25
調整後保管日時		2018年2月9日			8:30

【保管時の指示事項等】

時間調整をしています。よろしくお願いします。

作業主管G記入欄

						承認	審査	作成
保管希望日時	2018年2月9日	(金)	8:00					
作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
発生場所	Bエリア					2018/1/25	2018/1/25	2018/1/25
作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員			TEL		
元請会社			担当者			TEL		
線量測定年月日	2017/12/13	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号	F1-ICWBL-133	

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	鉄筋コンクリートガラ	B	02	D	A	33	㎥	0.008	mSv/h	0.008	mSv/h	無		
2							㎥							
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ：4. 22×2台×4回

線量測定内容

測定日	2018年2月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	6	μSv/h			エリアC	2018/2/9 8:10	5	㎥			1
1	2	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	6	μSv/h			エリアC	2018/2/9 8:50	5	㎥			1
1	3	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	6	μSv/h			エリアC	2018/2/9 9:30	5	㎥			1
1	4	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/9 10:00	5	㎥			1
1	5	鉄筋コンクリートガラ ①	5	μSv/h	6	μSv/h			エリアC	2018/2/9 12:00	5	㎥			1

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ：

※カテゴリ

①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態		D：乾燥，W：湿気有	③ 履歴	A：「1F構内にあった物」，B：「工事のために持ち込まれた物」		

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。（最大で5m以下とする。）

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止（養生、容器収納等）を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票　（別紙）

作業主管G記入欄 No.	保管物名	※カテゴリ ①	※カテゴリ ②	※カテゴリ ③	物量	測定場所雰囲気線量率	表面線量率	β・α汚染の有無	$\beta+\gamma$線量率
6					m³				
7					m³				
8					m³				
9					m³				
10					m³				

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	02	—	0171

保管実績記入欄 No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率	表面線量率	$\beta+\gamma$線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	6	鉄筋コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/9 12:30	5 m³			1
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			
								m³			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ											
①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」，B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、$\beta+\gamma$線量率欄に「$\beta+\gamma$」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、$\beta+\gamma$線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013803 − 0005

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0173	2018/1/26
調整後保管日時	2018年2月6日				9:00
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月6日	(火)	9:00	承認	審査	作成
作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事					
発生場所	H4タンクエリア			2018/1/25	2018/1/25	2018/1/25
作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL		
元請会社		担当者		TEL		
線量測定年月日	2018/1/24	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICWBL-338

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ、乗用車のﾀｲﾔ	B	10	D	B	5	㎥	3	μSv/h	3	μSv/h	無		
2							㎥							
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ

線量測定内容

測定日	2018年2月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ、乗用車のﾀｲﾔ ③	5	μSv/h	6	μSv/h			エリアC	2018/2/6 8:55	1	㎥			1
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ														
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ﾎﾟﾘ・ﾋﾞﾆｰﾙ類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦　礫　類　・　伐　採　木　管　理　票

計上No.	6013705 － 0015

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0174	2018/1/26
調整後保管日時		2018年2月5日			11:30
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄

				承認	審査	作成
保管希望日時	2018年2月5日	(月)	11:30			
作業件名	1～4号機 山側揚水設備運転管理業務委託					
発生場所	地下水バイパス揚水井エリア			2018/1/26	2018/1/25	2018/1/25

作業主管G	地下水対策グループ		監理員		TEL		
元請会社			担当者		TEL		
線量測定年月日	2018/1/24	測定者		測定器名	電離箱式サーベメータ	管理番号	F1-ICWBL-72

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	紙・ウエス類	A	01	W	B	1	㎥	6	μSv/h	6	μSv/h	無		
2	コーキング屑・マット・トンパック	A	04	W	B	3	㎥	6	μSv/h	6	μSv/h	無		
3	枕木	A	03	W	B	0.5	㎥	6	μSv/h	6	μSv/h	無		
4							㎥							
5							㎥							

メモ

線量測定内容

測定日	2018年2月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙・ウエス類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/5 11:05	0.4	㎥			1
2	1	コーキング屑・マット・トンパック	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/5 11:05	0.5	㎥			1
3	1	枕木	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/5 11:05	0.5	㎥			1
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ												
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013705 － 0015

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0175	2018/1/26
調整後保管日時	2018年2月5日				13:00

【保管時の指示事項等】

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月5日	(月)	13:00		
作業件名	1～4号機 山側揚水設備運転管理業務委託				
発生場所	地下水バイパス揚水井エリア				
作業主管G	地下水対策グループ	監理員		TEL	
元請会社		担当者		TEL	
線量測定年月日	2018/1/24	測定者		測定器名	電離箱式サーベメータ
管理番号	F1-ICWBL-72				

承認	審査	作成
2018/1/26	2018/1/25	2018/1/25

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	安全ネット・UVシート・ビニール類	A	02	W	B	2	㎥	6	μSv/h	6	μSv/h	無		
2	ゴムシート・ゴムパッキン	C	01	W	B	0.5	㎥	6	μSv/h	6	μSv/h	無		
3	ホース	C	04	D	B	2	㎥	6	μSv/h	6	μSv/h	無		
4							㎥							
5							㎥							

メモ

線量測定内容

測定日	2018年2月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	安全ネット・UVシート・ビニール類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/5 12:05	0.7	㎥			1
3	1	ホース（→H）	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/5 12:05	2	㎥			2
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ

①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	－
			06	－	07	－	08	－	09	－	10	－
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	－	14	－	15	－
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	－
	D	伐採木	01	伐採木（幹・根）	02	伐採木（枝・葉）	03	－	04	－	05	－
②	状態		D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。（最大で5m以下とする。）

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止（養生、容器収納等）を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013705 － 0015

作業主管G記入欄

				承認	審査	作成
保管希望日時	2018年2月6日	(火)	11:30			
作業件名	1～4号機 山側揚水設備運転管理業務委託					
発生場所	地下水バイパス揚水井エリア			2018/1/26	2018/1/25	2018/1/25
作業主管G	地下水対策グループ	監理員		TEL		
元請会社		担当者		TEL		
線量測定年月日	2018/1/24	測定者		測定器名	電離箱式サーベメータ	管理番号 F1-ICWBL-72

No.	保管物名	※カテゴリ ①	②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	揚水ポンプ・板金等・足場材	B 01	W	B	3	㎥	6	μSv/h	6	μSv/h	無		
2						㎥							
3						㎥							
4						㎥							
5						㎥							

メモ

固体廃棄物管理G記入欄

受付番号					受付
廃2018	—	02	—	0176	2018/1/26
調整後保管日時	2018年2月6日				11:30

【保管時の指示事項等】

線量測定内容

測定日	2018年2月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	揚水ポンプ・板金等・足場材 ⑩	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/6 11:40	3	㎥			1
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ												
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013705 － 0015

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0177	2018/1/26
調整後保管日時		2018年2月7日			10:30
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄

保管希望日時	2018年2月7日	(水)	10:30	承認	審査	作成
作業件名	1～4号機 山側揚水設備運転管理業務委託					
発生場所	地下水バイパス揚水井エリア			2018/1/26	2018/1/25	2018/1/25
作業主管G	地下水対策グループ	監理員		TEL		
元請会社		担当者		TEL		
線量測定年月日	2018/1/24	測定者		測定器名	電離箱式サーベメータ	管理番号 F1-ICWBL-72

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	電源ケーブル	B	08	D	B	1.5	㎥	6	μSv/h	6	μSv/h	無		
2	ブラシ・ボンベ用台車等	B	10	D	B	2	㎥	6	μSv/h	6	μSv/h	無		
3							㎥							
4							㎥							
5							㎥							

メモ

線量測定内容

測定日	2018年2月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	電源ケーブル ⑩	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/7 10:30	1.5	㎥			1
2	1	ブラシ・ボンベ用台車等 ③	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアC	2018/2/7 10:30	2	㎥			1
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ												
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ﾎﾟﾘ・ﾋﾞﾆｰﾙ類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013206 － 0007

作業主管G記入欄	保管希望日時	2018年2月5日	(月)	12:30		
	作業件名	電灯照明取替				
	発生場所	構内各所				
	作業主管G	建築保全・総括グループ	監理員		TEL	
	元請会社		担当者		TEL	
	線量測定年月日	2018/1/24	測定者		測定器名	電離箱ｻｰﾍﾞｲﾒｰﾀｰ
	管理番号	F1-ICW-371				

承認	審査	作成
2018/1/25	2018/1/25	2018/1/25

No.	保管物名	※カテゴリ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	紙・ダンボール	A	01	D	B	0.36	㎥	0.003	mSv/h	0.01	μSv/h	無		
2	ビニール	A	02	D	B	0.45	㎥	0.003	mSv/h	0.03	μSv/h	無		
3	キムタオル	A	01	W	B	0.01	㎥	0.003	mSv/h	0.01	μSv/h	無		
4	難燃シート	C	02	D	B	0.09	㎥	0.003	mSv/h	0.01	μSv/h	無		
5							㎥							

メモ 注：α有、βα有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0178	2018/1/26
調整後保管日時	2018年2月5日				11:00

【保管時の指示事項等】

線量測定内容			
測定日	2018年2月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙・ダンボール	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/5 11:15	0.2	㎥			1
2	1	ビニール	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/5 11:15	0.4	㎥			1
4	1	難燃シート	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/2/5 11:15	0.01	㎥			1
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ												
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ﾎﾟﾘ・ﾋﾞﾆｰﾙ類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」，B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013206 − 0007

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	—	02	—	0179	2018/1/26
調整後保管日時	2018年2月6日				12:00
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄	保管希望日時	2018年2月6日	(火)	12:00		
					承認	審査	作成
	作業件名	電灯照明取替					
	発生場所	5号機T/B 1FL、運用補助共用施設 屋上			2018/1/25	2018/1/25	2018/1/25
	作業主管G	建築保全・総括グループ	監理員		TEL		
	元請会社		担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/1/24	測定者		測定器名	電離箱サーベイメーター	管理番号 F1-ICW-371

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β+γ線量率	
1	照明器具	B	01	D	A	0.45	㎥	0.003	mSv/h	0.01	μSv/h	無		
2	照明器具(笠)	B	01	D	A	0.05	㎥	0.003	mSv/h	0.03	μSv/h	無		
3	照明器具(ガード)	B	01	D	A	0.41	㎥	0.003	mSv/h	0.01	μSv/h	無		
4	照明器具付属品(金具)	B	01	D	A	0.03	㎥	0.003	mSv/h	0.01	μSv/h	無		
5	照明器具付属品(可とう管)	B	10	D	A	0.01	㎥	0.003	mSv/h	0.01	μSv/h	無		

メモ　注:α有、βα有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β+γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用/減容可否	コンテナNo.	測定No.
		中止										㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ												
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票　（別紙）

作業主管G記入欄	No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
	6	電線	B	08	D	A	0.05	m³	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
	7	照明器具ソケット	B	03	D	A	0.03	m³	0.003	mSv/h	0.006	mSv/h	無		
	8	ブレーカー	B	03	D	A	0.01	m³	0.003	mSv/h	0.003	mSv/h	無		
	9							m³							
	10							m³							

固体廃棄物管理G記入欄				
受付番号	廃2018	—	02	—	0179

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			
													m³			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ													
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ﾎﾟﾘ・ﾋﾞﾆｰﾙ類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D	伐採木	01	伐採木（幹・根）	02	伐採木（枝・葉）	03	—	04	—	05	—
②	状態	D：乾燥，W：湿気有	③	履歴	A：「1F構内にあった物」，B：「工事のために持ち込まれた物」							

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。（最大で5m以下とする。）
注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止（養生、容器収納等）を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6012801 － 0012

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
廃2018	―	02	―	0183	2018/1/26
調整後保管日時	2018年2月5日				11:30
【保管時の指示事項等】					

作業主管G記入欄

				承認	審査	作成
保管希望日時	2018年2月5日	(月)	11:30			
作業件名	2～4T／B地下スラッジ調査					
発生場所	T/B 1FL			2018/1/26	2018/1/26	2018/1/26
作業主管G	地下水対策グループ	監理員		TEL		
元請会社		担当者		TEL		
線量測定年月日	2018/1/24	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号 F1-ICW-033F1-ICWBL-79

No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
1	可燃物(紙、ウエス類)	A	01	D	B	0.5	㎥	0.01	mSv/h	0.5	mSv/h	β有	3	mSv/h
2	可燃物(ポリ・ビニール類)	A	02	D	B	1.5	㎥	0.01	mSv/h	0.1	mSv/h	β有	1	mSv/h
3	可燃物その他	A	04	D	B	0.2	㎥	0.01	mSv/h	0.15	mSv/h	β有	2	mSv/h
4	難燃物(難燃シート類)	C	02	D	B	0.6	㎥	0.01	mSv/h	0.02	mSv/h	β有	0.1	mSv/h
5	難燃物(ホース類)	C	03	D	B	0.2	㎥	0.01	mSv/h	0.02	mSv/h	β有	0.5	mSv/h

メモ　注：α有、βα有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

線量測定内容			
測定日	2018年2月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄

No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	可燃物(紙、ウエス類)	5	μSv/h	40	μSv/h	55	μSv/h	エリアX	2018/2/5 11:40	0.5	㎥			1
2	1	可燃物(ポリ・ビニール類)	5	μSv/h	20	μSv/h	30	μSv/h	エリアX	2018/2/5 11:40	1.5	㎥			1
3	1	可燃物その他	5	μSv/h	30	μSv/h	130	μSv/h	エリアX	2018/2/5 11:40	0.2	㎥			1
4	1	難燃物(難燃シート類)	5	μSv/h	10	μSv/h	25	μSv/h	エリアX	2018/2/5 11:40	0.6	㎥			1
5	1	難燃物(ホース類)	5	μSv/h	5	μSv/h	10	μSv/h	エリアX	2018/2/5 11:40	0.2	㎥			1

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリ											
①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 ―				
			06 ―	07 ―	08 ―	09 ―	10 ―				
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類				
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他				
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 ―	14 ―	15 ―				
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 ―				
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 ―	04 ―	05 ―				
②	状態		D：乾燥，W：湿気有	③	履歴	A：「1F構内にあった物」，B：「工事のために持ち込まれた物」					

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票　（別紙）

作業主管G記入欄 No.	保管物名	※カテゴリ ①		②	③	物量		測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β・α汚染の有無	β＋γ線量率	
6	不燃物（金属ガラ類）	B	01	D	B	0.3	㎥	0.01	mSv/h	0.02	mSv/h	β有	0.1	mSv/h
7	不燃物（機械類・制御盤類）	B	03	D	B	0.3	㎥	0.01	mSv/h	0.04	mSv/h	β有	0.65	mSv/h
8	不燃物（その他）	B	10	D	B	0.1	㎥	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	β有	0.4	mSv/h
9							㎥							
10							㎥							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	02	—	0183

保管実績記入欄 No.	枝番	保管物名	測定場所雰囲気線量率		表面線量率		β＋γ線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用／減容可否	コンテナNo.	測定No.
6	1	不燃物（金属ガラ類）	5	μSv/h	10	μSv/h	20	μSv/h	エリアX	2018/2/5 11:40	0.3	㎥			1
7	1	不燃物（機械類・制御盤類）	5	μSv/h	10	μSv/h	25	μSv/h	エリアX	2018/2/5 11:40	0.3	㎥			1
8	1	不燃物（その他）	5	μSv/h	5	μSv/h	15	μSv/h	エリアX	2018/2/5 11:40	0.1	㎥			1
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			
												㎥			

＊線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ														
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ﾎﾟﾘ・ﾋﾞﾆｰﾙ類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	D	伐採木	01	伐採木（幹・根）	02	伐採木（枝・葉）	03	—	04	—	05	—
②	状態		D：乾燥，W：湿気有		③	履歴	A：「1F構内にあった物」，B：「工事のために持ち込まれた物」					

注1：可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2：伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。（最大で5m以下とする。）

注3：飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止（養生、容器収納等）を施し保管すること。 注4：塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5：β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β＋γ線量率欄に「β＋γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β＋γ線量率の記載不要。